

ワシントン大学看護学科(シアトル, 米国)スタッフの受入れを行いました (2019/3/29)

テーマ：国際交流、2011年東北地方太平洋沖地震、カスケード超巨大地震
場所：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市青葉区）

東北大学とワシントン大学間の連携のためにワシントン大学に設置された組織 Academic Open Space によるサポートを受けて、3月29日に、ワシントン大学看護学科（シアトル, 米国）より Dept of Psychosocial & Community Health Faculty & Administration 部門の Gail Johnson 上級講師、Family and Child Nursing 部門の Mayumi Willgerodt 准教授、そして Center for Global Health Nursing 部門の Pamela Kohler 准教授が、当研究所を訪問されました。当研究所からは、災害リスク研究部門 津波工学研究分野の今村文彦教授（所長）、情報管理・社会連携部門 国際研究推進オフィスのマリ・エリザベス准教授、災害医学研究部門・災害医療国際協力学分野の江川新一教授、災害精神医学分野の奥山純子助教が参加しました。また、東北アジア研究センターからプロジェクト研究部門・災害人文学研究ユニットの高倉浩樹教授、福田雄助教が参加しました。

今回の訪問では、ワシントン大学看護学科と災害研の今後の連携・協働体制について話し合いが行われました。その後、広報室の中鉢奈津子特任助教による展示のご案内と3Dドキュメンタリー映画「大津波3.11 未来への記憶」(制作：NHKメディアテクノロジー、監修：今村文彦)の上映が行われました。



ディスカッションの様子



ワシントン大学の皆様を囲んで



展示室見学の様子

文責：奥山純子（災害医学研究部門）